



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月29日  
上場取引所 東

上場会社名 NECキャピタルソリューション株式会社  
 コード番号 8793 URL <https://www.necap.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今関 智雄  
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 児玉 誠一郎 (TEL) 03(6720)8400  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・取引金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	107,974	△5.8	1,815	△77.9	1,927	△78.0	1,265	△76.4
2020年3月期第2四半期	114,573	13.4	8,205	74.6	8,740	112.1	5,365	99.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 705百万円(△90.8%) 2020年3月期第2四半期 7,670百万円(179.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	58.77	—
2020年3月期第2四半期	249.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	968,102	111,853	9.6
2020年3月期	997,510	105,248	9.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 93,046百万円 2020年3月期 92,725百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年3月期	—	30.00			
2021年3月期(予想)			—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	△0.3	6,500	△21.6	6,500	△28.5	4,000	△21.8	185.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	21,533,400株	2020年3月期	21,533,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	507株	2020年3月期	507株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	21,532,893株	2020年3月期2Q	21,532,899株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）新型コロナウイルス感染拡大に関するリスク情報・（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

- ・四半期決算短信補足説明資料は、当社ホームページで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 新型コロナウイルス感染拡大に関するリスク情報	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11
3. その他	13
(1) セグメント別の状況	13
(2) 営業資産残高	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然厳しい状況が継続しているものの、中小企業支援や特別定額給付金支給、Go Toトラベルなどの政府の諸施策に加え、日常生活における感染症対策の浸透などにより、持ち直しの動きが見られ始めています。一方で、海外においては欧州を中心に新型コロナウイルス感染症の再拡大が起こるなど、先行きの不透明感は拭えず、国内の持ち直しの動きについても引き続き注視していく必要があると考えております。

当社グループの属するリース業界においては、業界全体の2020年9月累計のリース取扱高は、前年同期比19.9%減の2兆1,613億円と、前年同期を下回る状況となっております。(出典：公益社団法人リース事業協会「リース統計」)

このような状況下において、当社賃貸・割賦事業では、契約実行高では前年同期比19.5%減、成約高は同18.6%減と、共に前年割れとなりました。これは前年同期にWindows10の入替需要を背景とした情報通信機器の大幅な増加や大型のベンダーファイナンス案件の獲得等があったことによるものであります。一方で、2017年度、2018年度の第2四半期対比では、契約実行高、成約高共に両年度を上回る水準となっており、前年比での落ち込みは、主に前年同期の特需に起因するものと考えております。

ファイナンス事業においては、主に短期の貸付であるファクタリングの減少により、契約実行高、成約高共に前年同期を下回る結果となりました。これは主に、顧客の売掛債権等の減少に伴い、ファクタリングの対象となる債権残高が減少したことや、大型案件の減少によるものであります。

リサ事業においては、前年同期にファンドによる大型の営業投資有価証券や販売用不動産の売却等を計上したことにより、売上高、営業損益共に前年同期を下回る結果となりました。また、当期においては不動産ビジネス等の先行費用を計上したこと等により、第2四半期累計期間では営業損失となっております。

また、その他の事業においては、前年同期に大型の案件を計上したことから売上高は減少しているものの、当期に高収益の売却案件を計上したことから、売上総利益、営業利益共に前年同期を上回りました。

経営成績は、リサ事業において前年同期にファンドによる大型の営業投資有価証券や販売用不動産の売却等を計上したことから、売上高、売上総利益共に前年同期を下回りました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により与信費用の計上を行ったこと等から販売費及び一般管理費が増加し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益についても前年同期を下回る結果となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,079億74百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益18億15百万円(同77.9%減)、経常利益19億27百万円(同78.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益12億65百万円(同76.4%減)となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①賃貸・割賦事業

賃貸・割賦事業の売上高は、前年同期比11.3%増の944億32百万円となり、営業利益は販売費及び一般管理費の減少等により、前年同期比3億50百万円増加し21億61百万円となりました。

#### ②ファイナンス事業

ファイナンス事業の売上高は、金利収益の減少等により前年同期比7.7%減の30億34百万円となり、営業利益は貸倒引当金繰入額の計上等により、前年同期比8億47百万円減少し5億95百万円となりました。

#### ③リサ事業

リサ事業の売上高は、前年同期にファンドによる大型の営業投資有価証券の売却や販売用不動産の売却があったことから、前年同期比85.2%減の22億10百万円となり、営業損益は、売上高の減少や不動産ビジネス等の先行費用を計上したことにより、前年同期比63億19百万円減少し2億91百万円の損失となりました。

#### ④その他の事業

その他の事業の売上高は、前年度に大型の賃貸資産の売却があったこと等により、前年同期比27.7%減の83億19百万円となった一方、営業損益は当年度に高収益の賃貸資産の売却があったことなどから、前年同期比4億95百万円改善し2億44百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて294億8百万円減少し、9,681億2百万円となりました。主な要因としては、営業投資有価証券が88億77百万円増加したものの、リース債権及びリース投資資産が190億65百万円、営業貸付金が174億61百万円、その他流動資産が76億99百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて360億13百万円減少し、8,562億48百万円となりました。主な要因としては、短期借入金が346億87百万円増加したものの、コマーシャル・ペーパーが530億円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が150億13百万円、買掛金が21億10百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて66億5百万円増加し、1,118億53百万円となりました。主な要因としては、非支配株主持分が62億83百万円増加したことによります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下資金という）は、478億77百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果によって得られた資金は370億86百万円（前年同期は201億80百万円の支出）となりました。これは主にリース債権及びリース投資資産の減少額190億65百万円並びに営業貸付金の減少額174億61百万円があったことによります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果によって使用した資金は32億71百万円（前年同期は26億53百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の償還による収入28億69百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出62億7百万円があったことによります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果によって使用した資金は291億34百万円（前年同期は215億76百万円の収入）となりました。これは主に短期借入金の増加額348億91百万円及び長期借入れによる収入171億11百万円があったものの、コマーシャル・ペーパーの減少額530億円及び長期借入金の返済による支出322億15百万円があったことによります。

## (3) 新型コロナウイルス感染拡大に関するリスク情報

2020年1月下旬以降の国内外の感染拡大による国内経済の停滞に伴い、与信コストの増加、資金調達コストの増加、為替変動幅の拡大などが懸念されます。営業フロントにおいては新規リース取扱高及び新規ファイナンス取扱高の減少も懸念されますが、withコロナにおけるICT機器の需要増、並びに手元資金確保に向けた需要増など、一概にマイナス面ばかりではないものと考えております。

政府の各種施策もあり、足下の国内経済活動は再始動に向かってはいるものの、欧州を中心に新型コロナウイルス感染症の第二波が起るなど、今後の動向については注視が必要と考えています。また、当社社員が感染した場合のBCP対応によって、企業活動の水準が必要最低限にならざるを得なくなった場合、経営成績全般に影響を及ぼす可能性がありますと考えております。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年7月30日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,339	48,034
割賦債権	29,545	28,881
リース債権及びリース投資資産	483,505	464,439
貸貸料等未収入金	22,607	22,609
営業貸付金	245,934	228,472
買取債権	10,640	10,358
営業投資有価証券	14,097	22,974
販売用不動産	16,496	17,470
仕掛販売用不動産	500	503
その他	19,044	11,344
貸倒引当金	△6,067	△6,883
流動資産合計	879,642	848,205
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産	55,673	55,587
社用資産	5,199	5,154
有形固定資産合計	60,873	60,742
無形固定資産		
貸貸資産	1,311	1,207
のれん	1,278	735
その他	2,075	2,020
無形固定資産合計	4,664	3,962
投資その他の資産		
投資有価証券	42,480	45,057
その他	12,375	12,835
貸倒引当金	△2,526	△2,700
投資その他の資産合計	52,330	55,192
固定資産合計	117,868	119,896
資産合計	997,510	968,102

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	682	665
買掛金	15,907	13,797
短期借入金	37,069	71,757
1年内返済予定の長期借入金	105,376	101,496
コマーシャル・ペーパー	256,000	203,000
債権流動化に伴う支払債務	3,353	3,094
未払法人税等	955	1,090
賞与引当金	697	1,022
その他	23,521	23,548
流動負債合計	443,565	419,473
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	344,143	333,009
債権流動化に伴う長期支払債務	5,325	3,844
退職給付に係る負債	2,094	2,134
その他	7,134	7,787
固定負債合計	448,697	436,774
負債合計	892,262	856,248
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,776	3,776
資本剰余金	4,645	4,645
利益剰余金	83,981	84,601
自己株式	△0	△0
株主資本合計	92,403	93,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	312
繰延ヘッジ損益	△143	△270
為替換算調整勘定	54	9
退職給付に係る調整累計額	△54	△27
その他の包括利益累計額合計	321	23
非支配株主持分	12,523	18,807
純資産合計	105,248	111,853
負債純資産合計	997,510	968,102

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	114,573	107,974
売上原価	97,391	96,420
売上総利益	17,182	11,554
販売費及び一般管理費	8,976	9,738
営業利益	8,205	1,815
営業外収益		
受取利息	10	3
受取配当金	42	34
持分法による投資利益	—	42
為替差益	219	108
投資事業組合等投資利益	280	3
その他	30	25
営業外収益合計	583	218
営業外費用		
支払利息	9	8
持分法による投資損失	13	—
投資事業組合等投資損失	8	72
その他	16	25
営業外費用合計	48	106
経常利益	8,740	1,927
税金等調整前四半期純利益	8,740	1,927
法人税、住民税及び事業税	856	1,372
法人税等調整額	270	△450
法人税等合計	1,127	922
四半期純利益	7,613	1,004
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,248	△260
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,365	1,265



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	7,613	1,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261	△125
繰延ヘッジ損益	△82	△132
為替換算調整勘定	△111	△45
退職給付に係る調整額	2	27
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△22
その他の包括利益合計	56	△298
四半期包括利益	7,670	705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,425	967
非支配株主に係る四半期包括利益	2,245	△261

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,740	1,927
減価償却費	5,432	6,604
のれん償却額	542	542
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△57	990
賞与引当金の増減額 (△は減少)	520	324
退職給付に係る資産及び負債の増減額 (△は減少)	△45	30
受取利息及び受取配当金	△53	△38
資金原価及び支払利息	2,437	2,042
持分法による投資損益 (△は益)	13	△42
為替差損益 (△は益)	△1,123	△717
割賦債権の増減額 (△は増加)	△5,528	663
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△1,552	19,065
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△26,401	17,461
売上債権の増減額 (△は増加)	525	△1
買取債権の増減額 (△は増加)	2,070	282
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	3,798	△8,877
販売用不動産の増減額 (△は増加)	559	△1,059
仕掛販売用不動産の増減額 (△は増加)	—	△3
賃貸資産の取得による支出	△8,242	△7,569
賃貸資産の売却による収入	5,301	2,660
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,789	△1,664
その他	△2,241	7,119
小計	△17,090	39,742
利息及び配当金の受取額	43	75
利息の支払額	△2,424	△1,964
法人税等の支払額	△709	△766
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,180	37,086

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社用資産の取得による支出	△934	△440
投資有価証券の取得による支出	△8,155	△6,207
投資有価証券の償還による収入	7,548	2,869
その他	△1,113	507
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,653	△3,271
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,966	34,891
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	33,000	△53,000
長期借入れによる収入	40,422	17,111
長期借入金の返済による支出	△50,147	△32,215
債権流動化の返済による支出	△2,075	△1,740
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△645	△754
非支配株主への配当金の支払額	△6,311	△31
非支配株主からの払込みによる収入	366	6,603
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,576	△29,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△260	174
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,518	4,854
現金及び現金同等物の期首残高	20,686	43,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,168	47,877

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	84,841	3,288	14,987	11,501	114,619	△45	114,573
セグメント利益 又は損失(△)	1,810	1,442	6,028	△250	9,031	△825	8,205

(注) 売上高の調整額△45百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△825百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	94,432	3,034	2,210	8,319	107,997	△22	107,974
セグメント利益 又は損失(△)	2,161	595	△291	244	2,709	△894	1,815

(注) 売上高の調整額△22百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△894百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (追加情報)

(NEC Financial Services, LLCの持分取得に関する譲渡契約締結)

当社は、2020年9月29日開催の取締役会において、米国においてテレコム機器リース・ファイナンス事業などを展開するNEC Financial Services, LLC（以下、「NECFS」）の全持分を取得すること（以下、「本持分取得」）を決議し、2020年9月30日付で持分譲渡契約を締結いたしました。

## 1 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

対象会社の名称 NEC Financial Services, LLC  
事業内容 米国におけるリース・ファイナンス事業

## (2) 相手企業の名称及び事業の内容

名称 NEC Corporation of America  
事業内容 米国における地域代表・統括業務、通信機器、コンピューター関連機器等及びシステム・インテグレーションの提供

## (3) 企業結合を行った主な理由

当社は、1978年の創業以来培ってきた「NECとの戦略的な連携」、「幅広い金融ソリューション」、「ICTに関する豊富な知見」の3つの強みを結集したサービスを市場に提供してまいりました。当社はNECとの商流をコア領域と位置付け、国内では官公庁や民間企業領域におけるリース・ファイナンスやICT関連サービス事業への取り組みを通じ、NECグループとの戦略的パートナーシップを強化すると共に、海外においても事業基盤の拡充、ビジネスパートナーとの連携強化等を図り、NECグループとの協働プロジェクトを推進しております。

NECFSは、1986年に設立されたNECグループの米国ビジネスにおける販売金融事業の中核企業であり、またNECグループ外の企業向けに様々な商品のリース・ファイナンス事業を行っており、米国市場において長年の経験と知見を有する企業です。当社はNECFSを通して今後もNECグループにファイナンス機能を提供し、中長期的にNECグループの米国市場展開を支援する重要な役割を果たしてまいります。

当社は、これまでも米国におけるプロジェクトファイナンスの取り組み等NECFSとの協業実績を重ねてきました。本持分取得により、海外におけるNECグループとの戦略的パートナーシップをさらに強化していく所存です。

## (4) 企業結合日

持分譲渡実行日は2020年11月30日を予定しております。

## (5) 企業結合の法的形式

現金を対価とする持分取得

## (6) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

## (7) 取得する議決権比率

100%

## (8) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として持分を取得することによります。

2 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	25百万米ドル
取得原価		25百万米ドル

3 主要な取得関連費用の内訳及び金額

現時点では確定しておりません。

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5 対象会社取得日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(新型コロナウイルス感染拡大に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定についての重要な変更はありません。

## 3. その他

## (1) セグメント別の状況

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	84,841	77,713	7,127	1,529	5,598	3,787	1,810
ファイナンス事業	3,288	225	3,062	651	2,411	968	1,442
リサ事業	14,987	6,415	8,571	197	8,374	2,345	6,028
その他の事業	11,501	10,624	876	40	836	1,087	△250
調整	△45	△7	△37	—	△37	787	△825
合計	114,573	94,972	19,601	2,419	17,182	8,976	8,205

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	94,432	87,370	7,062	1,251	5,811	3,649	2,161
ファイナンス事業	3,034	12	3,021	501	2,519	1,924	595
リサ事業	2,210	279	1,931	243	1,688	1,979	△291
その他の事業	8,319	6,730	1,588	38	1,550	1,305	244
調整	△22	△7	△15	—	△15	878	△894
合計	107,974	94,386	13,588	2,033	11,554	9,738	1,815

(注) 1. セグメントの区分は、主な営業取引の種類により区分しております。

2. 各セグメントの主要品目は以下のとおりであります。

- ①貸貸・割賦事業……情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の貸貸(リース・レンタル)及び割賦販売業務等
- ②ファイナンス事業…金銭の貸付業務、ファクタリング業務及び営業目的の収益を得るために所有する有価証券の投資業務等
- ③リサ事業……………株式会社リサ・パートナーズが行っている企業投資、債権投資、不動産、ファイナンス及びアドバイザー業務
- ④その他の事業……………物品売買、貸貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却、手数料取引、ベンチャー企業向け投資、ヘルスケア関連及び太陽光発電売電業務等

## (2) 営業資産残高

セグメントの名称	前第2四半期 連結会計期間 (2019年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)		増減 金額(百万円)	(参考) 前連結会計年度 (2020年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
貸貸・割賦事業	514,743	60.4	550,115	63.1	35,371	570,035	63.5
ファイナンス事業	282,799	33.2	236,440	27.1	△46,359	258,092	28.7
リサ事業	50,658	5.9	76,361	8.8	25,703	62,644	7.0
その他の事業	3,837	0.5	8,641	1.0	4,803	7,497	0.8
合計	852,038	100.0	871,558	100.0	19,519	898,270	100.0

(注) 当第2四半期連結会計期間におけるリサ事業の営業資産残高の内訳は、営業貸付金が11,889百万円、買取債権が10,358百万円、営業投資有価証券が20,609百万円、販売用不動産が11,194百万円、投資有価証券が22,309百万円となっております。